

山岳信仰サミットを 開催しては？

町長

大山寺 1300 年事業の参考に

近藤 大介 議員



かつて修験道の修行場として栄えた大山

【近藤】 大山寺周辺の観光振興に、補助金など多額の投資を行っているが、十分な成果はあがっているか。現状と課題は。

【町長】 地域間競争のため、支援なしでは、非常にきびしいのが現状である。

旅館など施設の老朽化・後継者の問題・事業者の意識の問題など多くの課題をかかえている。

【近藤】 観光事業を営む若手経営者や後継者へ海外視察などを含め積極的な育成・支援策が必要ではないか。

【町長】 平成25年度の視察事業では、やる気のある人を優先した。

【近藤】 大山はかつて山岳信仰の聖地であった。エコツーリズムの推進に、日本山岳信仰サミット（仮称）を開催してはどうか。

【町長】 平成30年に大山寺創建1300年を迎える。地元や県と取り組みの相談をする。

企業誘致事業

○旧大山電機の土地と建物を町が取得する

1億1035万円



その他の事業

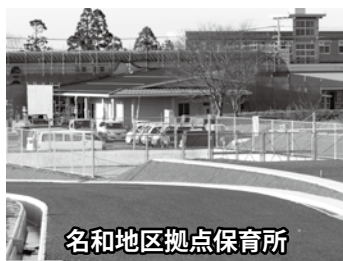
補正した主な事業

○スクールバス購入
「地域の元気臨時交付金」を活用し、2台購入する

751万円

○名和地区拠点保育所建設
造成工事費を増額する

2100万円



11月
臨時会

企業誘致に向けて

平成25年第8回臨時会を11月22日に開きました。
この臨時会では、企業誘致のため、旧大山電機跡地を町が取得する経費など、一般会計補正予算が提案され、全会一致で可決しました。